

# 令和4年度(2022年度)第2回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)6月25日(土)9:30~12:00
場所	長房小学校 プレイルーム
出席者	参加者：管野、鈴木、塚本、仁科、西山、本堂、松崎、松葉、森、山陰、山中 高齢者あんしん相談センター長房：古座野 第1層生活支援コーディネーター：今泉 はちまるサポート長房：河瀬 八王子地域 PAL-ETTE：小杉、三浦 未来デザイン室：今川、野田、安齋、牧瀬 (株)アール・ピー・アイ：笠原、岩崎、丸木、中井、吉川
見学者	八王子未来 CAN-VAS：和田
配布資料	・令和4年度(2022年度)第2回長房中学校区地域づくり推進会議資料 ・「長房中学校区の将来ビジョンを実現するためのアクションプラン一覧(修正版)」

## 1 開会

未来デザイン室から挨拶

## 2 オリエンテーション

会議資料をもとに、令和4年度(2022年度)のゴールと本日の検討事項を確認した。

参加者より「長房あんしんだより」の多世代交流「の～んびりテラス」のイベント開催について情報共有があった。

## 3 議題

### (1) 優先的アクションプランの取組を共有しよう

#### ア 各部会からの報告

会議資料をもとに、これまでの部会活動について部会ごとに情報共有し、その後、全体発表を行った。全体への報告概要は以下のとおり。

##### < 地域施設での情報発信部会 >

- ・6月11日にメンバー5人全員で1回目の部会を開催し、役割分担を行った。それぞれの役割は代表者：森、副代表者：塚本、宇田、事務局：本堂、坂本として決定した。
- ・コピー長房で部会を開催する場合は、「推進会議」の名前での予約を行う。
- ・第2回は、7月9日15時から開催予定。開催場所はコピー長房コピテラス(予約済み)。
- ・具体的な発信方法は、コピー長房の「街のふれあい掲示板」「モニター(コミュニティスペース内)」「アルプス提供の掲示板」の3つの手段で、時間を区切って使用することを検討中。
- ・ふれあい掲示板の場所については、アルプスに相談している。

##### < SNSでの情報発信部会 >

- ・第1回推進会議後にLINEグループを立ち上げて、参加者同士で連絡をとっている。
- ・SNSでの情報発信について、まずはInstagramから始めたい。
- ・共通のアカウントを作成し、参加者でパスワードを共有して発信する。
- ・Instagramのアカウント名とアイコンを決める必要があるため、本日の推進会議後に部会を開催し、検討する。

< 地域イベント・行事での情報発信部会 >

- ・決まったことは、連絡方法はLINE。部会の統括は連絡担当（野副氏）を中心とする。
- ・第2回は本日の会議終了後に開催。
- ・発信方法は、第1弾として都営団地を軸に行う。団地内に4つの自治会団体があり、そこでお願いをして情報発信すると良いと考えている。
- ・7～11月に発信するイベントを精査する予定。その後、来年1月の「住民協だより」にも掲載したい。

今後、各部会において全体で相談したいこと、全体会で検討したいことなどがあれば是非共有いただきたい。（RPI）

## イ 優先的アクションプランを実行するにあたっての確認及び決定

会議資料をもとに、各部会の報告内容を踏まえ、優先的アクションプランとして行う情報について、共通して発信する内容を運営担当で検討し、全体会で確認することとなった。主な意見交換内容は以下のとおり。

< 主な意見交換内容 >

- ・3部会共通のことを決定する際には、部会の代表者が集まる場または全体で決めたほうが良い。各部会から運営担当を選出する形が良いか。（RPI）  
第2回では、発信内容を共通とするのか、それとも部会ごととするのかを整理し、共通とするならば、その情報を運営担当で検討していくのかを決定したい。具体的な検討は、決定した検討方法に基づき進めていきたい。（未来デザイン室）  
各部会での役割分担の検討状況には違いがある。運営担当に選出される方は、必ずしもその部会の代表者でなくても良いのではないかと。まずは、部会の中から輪番で運営担当の打ち合わせに出席するなど、始めはなるべく負担が先行しない形で進めていきたいところである。（未来デザイン室）
- ・3つの部会において、共通して発信する内容に加え、独自に発信する内容があっても良いのではないかと。部会によって、世代に合わせて独自の内容を発信していくことも良いと考える。（未来デザイン室）
- ・発信内容については、発信（案）を運営担当であらかじめ作成し、その内容を全体会で議論する流れで良いか。  
異議なし（参加者）

## ウ 部会運営に関する意見交換

会議資料をもとに、部会運営について意見交換を行った。主な意見交換内容は以下のとおり。

< 主な意見交換内容 >

- 部会間の連携方法（部会同士でできること）
  - ・推進会議全体のグループLINEがあれば共有しやすいと思う。他に良い方法があれば案をいただきたい。（未来デザイン室）
  - ・LINEでは全体への連絡や共有は出来ても、相談はできないので、定期的集まるべき。今後の全体会においても共有の場を作っていく。（未来デザイン室）
- 部会参加者以外（地域住民等）の参画方法
  - ・専門性の高い取組には、知識や技術面でのアドバイスが必要ではないかと。専門家などに関わっ

てもらうことで、より活動が活発になるのではないか。

さまざまな特技（例：絵が得意）をもった方に協力いただくためには、地域全体への情報発信が必要であり、その第一歩としては、所属する地域団体への情報共有であると考え。（未来デザイン室）

- ・協力をいただく際は無償なのか有償なのかをはっきりさせるべき。運営上の事務費用（コピーなど）などの経費がかかる場合、未来デザイン室で計上できないのか。

会議運営にかかる消耗品等については、一定程度予算を確保している。しかし、優先的アクションプランの取組は、「お金がかからない」ことを一つの条件としているため、予算には限りがある。今後、消耗品等が必要となった場合は、事務局に相談いただきたい。（未来デザイン室）

## （２）その他のアクションプランを考えよう

### ア 令和３年度（２０２１年度）の振り返り

会議資料をもとに、地域づくり推進計画の内容とその策定までの経緯を確認した。

### イ 共通テーマの追加説明

会議資料をもとに、アクションプランを検討する際の共通テーマとして、「公共施設再編」「地域防災」「カーボンニュートラル」、新たな視点として「DX」を含めて検討していただきたい旨の説明を行った。主な参加者意見の概要は、以下のとおり。

<主な参加者意見>

- ・共通テーマ（カーボンニュートラルや地域防災）は、地域で負担なくできる取組を検討するとともに、市との連携も合わせて行いたいと考えている。特に「地域防災」は、地域の実情に合わせた対応とともに、地域のなかで防災への意識をもつことが必要。また、アクションプランを検討する際には、「DX」の視点を持っていただきたい。詳細な説明は、第３回以降に行う。（未来デザイン室）

レベルの高いことを求められていると感じた。（参加者）

カーボンニュートラルなどの専門的な分野では、現参加者だけでの検討は難しいのではないか。

地域人材のなかで専門性を持っている方を含めなければ実行は難しい。（参加者）

今後検討の中で、必要な人材に入ってほしいと考えている。（未来デザイン室）

- ・専門の人の選定は誰がするのか。

当室も必要に応じて各所管課に相談することは可能である。選定については、推進会議として決定してもらうことを想定している。（未来デザイン室）

- ・会議で決まったことが、実行されないと意味がない。

地域のなかで負担なくできることといった視点で検討いただきたい。カーボンニュートラルは、すぐに効果がでるものではないが、「地域でできることはなんだろう」と考えていくことが必要。また、情報発信を電子媒体で行うこともDXの１つである。できることからまずは取り組んでいきたい。（未来デザイン室）

- ・地域防災について、南浅川が洪水になった時の避難場所（高台）の受け入れ体制整備が必要。避難が長引く場合もあり、受け入れ先の住民の理解を得ることも必要ではないか。

学校施設などの指定避難所から離れた場所で災害が起こることもあり、地域の他の身近な場所で一時的に緊急避難ができるよう、事前に情報共有することも大事ではないか。次回以降、各共通テーマの情報について担当所管課から説明する機会を設ける。理解を深めた上で何が

できるか考えていきたい。(未来デザイン室)

- ・住民目線で取り組むべきことについて、多くの案が出てくると、推進会議の参加者だけでは担い切れないのではないかと懸念している。

自分たちがやっていることを再確認すると、すでにやっていることもある。例えば、高齢者への情報発信として、高齢者のスマホ教室もある。共通テーマを地域で取り組みたいことと複合的に考えるとといった方法もあるのではないか。(第1層生活支援コーディネーター)

推進会議の取組は、現状での推進会議参加者だけが取り組んでいくものではなく、推進会議参加者の所属団体などのルートを活用しながら、地域全体の取組としていくものとする。

(未来デザイン室)

- ・LINEを活用して情報共有することもDXの1つになると考える。(参加者)

いただいた御意見を踏まえ、今後の会議運営に活用させていただく。(未来デザイン室)

## ウ アクションプランの分類

会議資料をもとに、アクションプランの取組分野について、緊急度・重要度などをもとに、令和8年度(2026年度)までに実行するのが難しいこと、行政の協力・実施が不可欠であり、住民主体での実施は難しいことについて、分類・振り分けをしたいことを説明。その結果、令和8年度(2026年度)までに「地域コミュニティの活性化」に取り組むことで決定した。主な意見交換内容は以下のとおり。

### <主な意見交換内容>

- ・行政でしかできないものは、仕組みが固まった時点で説明を行う予定。(未来デザイン室)
- ・都営団地で集まれる場所がないので、広場整備を都に依頼した。その結果、2年後までに整備を進めることになった。今後は都と直接ではなく、市が間に入っただけだと助かる。
- ・船田地域の開発が進むと、600世帯程度人口が増えるのではないか。
- ・計画の取組分野を絞り込んだ時は、今の参加者だけやっていくのか。

今年度は、試行的な推進会議の体制で検討し、来年度からの多様な分野を検討していくことができる仕組みを構築していきたいと考えている。次の段階としては、多くの地域の方々に関わってもらうためにはどのように実行すれば良いかを検討していきたい。ただし、すべてを平行して進めていくのは難しいため、優先順位をつけて取り組みたいと考えている。(未来デザイン室)

- ・まずは、地域として何をやっていくのかを決め、軌道に乗った後、取組を担っていく団体を探すのも必要ではないか。
- ・防災はすでに町会等で取り組んでおり、月1回横山北町会自治会連合会で集まっている。こうした繋がりを持った上で進めることが必要であり、個々の団体の連携が重要となる。

新しい取組をやってもらうだけでなく、すでに現在実施している団体を巻き込み、どう連携するかの視点も必要ではないか。(未来デザイン室)

今年度できることを中心に情報発信を行い、5年間の中で何ができるかを推進計画に掲載していく。無理にすべてやっていくことは考えていない。市全体でやる共通テーマについても、地域で何ができるかを考えていただきたい。さまざまな取組を考えていくなかで、DXの視点を取り入れていきたい。(未来デザイン室)

- ・施設整備は時間がかかるので、情報発信の視点でみると、「地域コミュニティ」と「地域の担い手」が優先されるべきだと思う。
- ・カーボンニュートラルは取組を考えやすい。各部会の宿題で何ができるかとしてはどうか。まずは市からの説明を受けて考えてからでも良いのではないか。(RPI)

- ・ 公共施設再編があるが、これは行政と住民と一緒に検討していく項目として残していきたい。  
( 未来デザイン室 )
- ・ 推進会議の意義は何か。3つの部会の情報を持ち寄り、こうすれば町が活性化する・推進できるという共有の場にできると良いのではないか。ここで出たアイデアを推進していける場であってほしい。  
モデル地区は、推進会議の役割や進め方、仕組みの構築などを検証するために選定させていただいた。引き続き、このような意見交換を行っていきたい。( 未来デザイン室 )
- ・ 長房中学校区に未来デザイン室の出張所を設置し、週1回程度で情報共有できないものか。  
地域の活動拠点については、検討中であり、今後皆様にも御意見を伺いながら、検討を重ねていく。( 未来デザイン室 )
- ・ 5年程前には、市民センターが手狭であり、防災、市の出先機関としても活用できるよう市民センターの機能を充実させてほしいと要望書を出している。市民センターは体育室の利用が多く予約が難しいこと、またアクセスが悪いことが課題となっている。
- ・ 今までの意見を踏まえると、「地域コミュニティ」と「地域の担い手」の視点が入っている「地域コミュニティの活性化」を4年間で取り組んでいくことで良いか。( 未来デザイン室 )  
異議なし。( 参加者 )

### ( 3 ) 部会と推進会議の調整について

会議資料をもとに、全体会の運営のための調整や3部会の進行管理・調整を行う「運営担当」を設置する旨の提案を事務局より行った。その結果、運営担当は各部会から2名ずつ選出して構成することとし、人選は、第3回地域づくり推進会議で行うことで決定した。

### ( 4 ) カルテ及び推進計画の発信について

会議資料をもとに、参加者が属する団体のHPへのリンク設定や、SNSでの情報発信を行っていただきたいこと、第3回地域づくり推進会議において、発信した際に生じた課題などについて意見交換を行う予定である旨を説明した。

### 【報告事項】参加者の追加について：

- 保護司：推薦可能と事務局から回答があった。第3回推進会議から参加いただけるよう調整する。
- 保育園・幼稚園の保護者：しらゆり幼稚園の園長に保護者の参加について確認を依頼中。
- シニアクラブ：「長房お助けチーム」代表が参加者であったため、常時参加者ではなく、今後、必要に応じて意見聴取を行う形で良いと考えている。
- 消防団：青少年対策地区委員会の副会長が所属しているため、会長を通じて参加を依頼中。

### 閉会

第3回推進会議の開催日程等について、第5回地域づくり推進会議と地域フォーラムの開催日が変更したことを確認した。

第3回：令和4年(2022年)7月30日(土)9:30~12:00 長房小学校プレイルーム(予定)

以上